

令和3年度熊本高専公開講座

「換気の見える化を目的とした二酸化炭素測定装置の製作2」

■日時：令和3年6月12日（土）10:00-15:00

■場所：熊本高等専門学校 八代キャンパス、専門棟2F 多目的演習室

■概要：

新型コロナウイルスの大きな課題である密閉状態を防ぐ目的で“換気”は非常に重要です。本講座では、市販のCO₂センサーモジュール「MH-Z19B」と小型のマイコンモジュール「M5Stack」を用いて、CO₂濃度計測器を製作します。さらに、IoTデータの可視化サービス「Ambient」を利用して、スマホからCO₂濃度を確認できるようにします。

午前中は既存のプログラムを利用して、CO₂濃度の表示と Ambient へのデータのアップロードを行います。午後からはプログラムを改造して、警告音が出るようにしたり、SNSとの連携を目指します。午前中は5月22日の公開講座と同じ内容ですので、午後のみ参加されても大丈夫です。また、午前中のみ参加するなど途中で帰宅されても構いません。

■日程：

- 9:40～10:00 受付
 10:00～10:05 主催者挨拶
 熊本高等専門学校 地域協働プロジェクトセンター副センター長・教授 田中裕一
 10:05～10:10 本日の日程について
 熊本高等専門学校 機械知能システム工学科教授 小田明範
 10:10～12:00 CO₂濃度計測器の製作
 講師：熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科助教 森下功啓
 ※ 途中、休憩を適宜はさみます。
 12:00～13:00 お昼休み・昼食
 13:00～14:50 続 CO₂濃度計測器の製作
 14:50～15:00 閉会の挨拶

■主催

熊本高等専門学校 地域協働プロジェクトセンター

■共催

八代商工会議所

■その他

- ・ 参加費は無料です。ただし、製作した「計測器」は一時的貸与とし、一定期間ののち、返却をお願いする予定です。また、できればテザリング可能なスマホをお持ちください。
- ・ 参加される方はインターネット接続可能なノートPCをご持参ください。OSはWindowsが望ましいですが、Macでも問題ありません。
- ・ 5月22日の公開講座に参加された方は、作成された測定器をお持ちください。
- ・ 新型コロナへの感染予防対策をお願い致します。当日、体調が思わしくない方は参加をご遠慮ください。校舎内に入る際は、入口のアルコールで手の消毒をお願いいたします。

■参加申し込み先

6月9日12時まで、下記リンク先からお申し込みください。

QRコードを読み込んでリンク先に飛べます。

<https://forms.office.com/r/QVbUR4e0GA>

■問い合わせ先

熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科助教 森下功啓

Eメール：morishita@kumamoto-nct.ac.jp

件名の例：「6月12日公開講座 ○○」

